

【R18】ノベル

『教育実習生の女子が、〇ち〇ちんを見た話』

～女のコの体験談風短編集～

作：七条右京

【主な登場人物】

・ ^{みうら ことみ}三浦琴美：教育実習生

・ ^{さわだ めい}沢田芽衣：指導の女教師

1：教育実習生としての初日の自己紹介で

2：男子バスケット部の部活見学

3：男子水泳部の部活見学

4：身体検査

5：罰として全裸で

三浦琴美と申します。

私がこの春、教育実習生として実習に行った学校でのお話です。

この学校はちょっと変わっていて、男子生徒が裸にされるのがあたり前の風習がありました。

しかもその裸、パンツも穿いていない裸、全裸なんですよ。

当然、おちんちんも丸見えです。

男子は、女教師に全裸にされ、女子生徒に全裸にされ、とにかく全裸にされます。

私は、実習期間中、全裸にされた年下の若い男子のおちんちんをいっぱい見ました。

最初は恥ずかしくて戸惑いましたが、慣れって怖いものですね、慣れて来ると見るのが楽しくなっていました。

実習の期間が終わる頃には、女教師として男子生徒を罰として全裸にしていました。



1：教育実習生としての初日の自己紹介で

教育実習生としての初日、担当する事になったクラスでの自己紹介、私は形式的に簡単に自己紹介をしました。

さわだ めい
沢田芽衣：女教師（琴美を指導する教師）：

「3週間の実習期間、みんな優しくしてあげな

さいよ」

「先生を困らせちゃ駄目よ」

「特に男子、分かったわね」

「それじゃあ、三浦先生になんか聞きたい事がある人」

「はい、それじゃあ、柴田君」

柴田（男子生徒）：

「先生、付き合ってる彼氏はいますか？」

みうら ことみ
三浦琴美：

「残念ながら今はいません」

柴田：

「でも先生、そんなに可愛いのに、どうしてで

すか？」

琴美：

「性格の不一致と言うやつで、3か月前に別れました」

柴田：

「それじゃあ先生、今フリーなんだね、オレ彼氏になってもいいですよ」

琴美：

「あっ、それは、うん・・・」

芽衣：

「先生困ってるじゃないの、そんな質問しちゃ駄目よ」

「はい、それじゃあ、高橋君」

高橋（男子生徒）：

「おっぱいのサイズいくつですか？」

「なにカップですか？」

琴美：

「あっ、サイズ、カップ？」

「あっ、秘密です」

私は、いきなりおっぱいのサイズを聞かれて戸惑いました。

男子に、はっきり言う事なんて恥ずかしくて出来ません。

恥ずかしくて、顔が赤くなってしまいました。

高橋：

「先生、顔、赤くなってる」

芽衣：

「こら高橋君」

「先生、恥ずかしがってるじゃないの」

「困らせちゃ駄目だって言ったでしょう？」

「罰として、お仕置きをしないと駄目ね」

「ちょっと前に出なさい」

高橋：

「は〜い」

芽衣：

「返事は、は〜い、じゃなく、はい、でしょう？」

高橋：

「はい」

**指導の沢田先生は、高橋君を前に出て来させ、
私に謝らせました。**

芽衣：

「三浦先生に謝りなさい」

「心から謝るのよ」

高橋：

「先生、ごめんなさい」

芽衣：

「お尻ぺんぺんするから、お尻を出しなさい」

「ズボンと、パンツを脱ぎなさい」

琴美：

「やだ、ズボンとパンツを脱げだなんて」

「私は大丈夫です」

「高橋君も謝って、反省してる事だし」

芽衣：

「三浦先生、生徒に甘い顔しちゃ駄目なのよ」

「悪い事をしたら、ちゃんと罰を与えないと」

「さあ、高橋君、早くしなさい」